

## 令和 8 年度当初予算（案）の骨子

『 変わるれ！長岡』

住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち  
～イノベーション先進都市～』

我が国は、2年連続で賃上げ率が5%を上回るなど、長く続いた「デフレ・コストカット型経済」から「成長型経済」への移行段階にあり、足元の景気は緩やかな回復傾向が続いていますが、国際情勢など不安定要素も多くあり、今後の先行きには不透明感があります。

さらに、加速度的に進む人口減少と少子高齢化による地域経済の衰退や労働力不足など、早急に克服すべき構造的な課題を抱えています。

長岡市においても、これらに加えて、地域コミュニティの衰退やデジタル化社会の急速な進展、価値観や生活様式の多様化、大雪を含む自然災害の激甚化など、様々な変化や課題に直面しており、物価高騰の影響も受ける中で、市民生活や地域経済は大変厳しく困難な状況にあります。

こうした状況だからこそ、長岡のまちづくりの原点である「米百俵の精神」や「市民協働」、地域の強みを大切にしつつ、社会情勢の変化に柔軟に対応し、イノベーションに挑戦して、多様な学びを実現することで、市民が住み続けたい、離れても戻ってきたいと思えるまち、全国や世界中の人々や企業から選ばれる安全安心で魅力的なまちづくりを進めていく必要があります。

令和8年度は、市制施行120周年を迎え、新たな総合計画がスタートする年です。まちの将来像である『変わるれ！長岡 住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～』の実現に向けて、令和8年度当初予算（案）は、総合計画に掲げる6つの基本目標と33の政策、94の施策の柱に沿って編成しました。

市が直面する課題に全力で取り組みながら、歩みを止めず、次の10年、さらにその先の未来も見据えたまちづくりを進めてまいります。

## 予算の特徴

### ■ 予算規模と特徴

#### 一般会計

**1, 424億 600万円** [前年度比 ▲28.6億円、▲2.0%]

○物 件 費 : +26.8億円

全市民に1万円分の「物価高騰対応・暮らしと地域の応援商品券」を配布

○人 件 費 : +12.1億円

定年延長に伴い退職手当の支給者が増加

○補 助 費 等 : +7.9億円

小学校給食費に係る保護者負担相当額を緊急的に支援

○普通建設事業費 : ▲86.9億円

米百俵プレイスミライエ長岡東館や戦災資料館、与板地域交流拠点施設などの大規模事業が前年度でピークを迎えたことに伴う減

生活道路や消雪施設、橋りょうなどの維持修繕費のほか、コミュニティセンターやスポーツ施設、小・中学校などの営繕工事は、平年ベースの事業規模を確保

#### 総予算（特別会計・企業会計含む）

**2, 326億3, 460万円** [前年度比 +6.5億円、+0.3%]

### ■ 経済対策を活用して、生活に密着したインフラの整備を推進

国の補正予算に伴い、小・中学校の大規模改修や道路整備、街路樹の植替えなど、令和8年度の予定事業を補正予算で前倒して実施することで、切れ目のない経済対策を実施

#### 一般会計 普通建設事業費

〈7年度 経済対策補正予算〉

**67.8億円**

〈8年度当初予算〉

**157.0億円**

〈総額〉

**224.8億円**

### ■ 重点施策（総合計画の6つの基本目標）

- 1 誰にも優しく寄り添う共生社会のまち
- 2 子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまち
- 3 災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち
- 4 産業が成長し活力を創出するまち
- 5 にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち
- 6 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち

## 重点施策

### 1 誰にも優しく寄り添う共生社会のまち

コミュニティ推進組織による地域課題解決に向けた活動を支援するほか、女性が自分らしく活躍できて、女性から選ばれるまちを目指すため、市内企業の意識啓発と行動変容を伴走支援するとともに、女子中高生向けのセミナーやシンポジウムを開催します。

避難行動要支援者本人や町内会などによる個別避難計画作成を伴走支援するほか、ひきこもり状態にある方が再び社会とつながることができるよう、支援体制を強化します。

中越圏域における広域的な救急・周産期医療体制を維持確保するため、市内基幹3病院への支援を強化します。

### 2 子ども・若者が夢や希望をもち、誰もが学び続けることができるまち

米百俵プレイスミライエ長岡東館の開館に合わせてオーニングイベントを開催し、中高生の居場所づくりや人材育成の拠点として中高生専用スペースを開設します。

不登校児童生徒の支援体制を充実させるため、校内支援員の配置校を拡大するとともに、教室に通うことが困難な子どもたちが自由に過ごせる居場所を増設します。

地域クラブ活動の参加費を一部低減し、指導者の全国大会引率費用を支援します。

不妊治療に加えて、新たに不育治療費用を助成するとともに、産後ケアを充実して、産婦の心身に寄り添った包括的な支援体制を強化します。

中学生の冬期通学費を新たに助成することで、遠距離通学する児童生徒の安全を確保し、保護者の経済的負担を軽減します。

### 3 災害や雪に強く、暮らしやすい安全安心なまち

災害時の孤立集落に配備する衛星携帯電話などの計画的な更新に着手するほか、地域防災計画を改定し、全市民にリーフレットを配布することで内容を周知します。

長岡モデルの雪国太陽光発電の普及を促進するほか、鳥獣被害対策を強化します。

特別豪雪地帯初の自動運転実装に向けた検討に着手するとともに、支所地域に課題解決型の集落支援員を配置して、地域住民による主体的な地域づくりを促進します。

川口地域交流拠点施設(仮称)の建設工事に着手するとともに、長岡西大積スマートインターチェンジ関連道路などの基幹道路の整備を進め、市内6か所目のインターチェンジ開通に向けた機運を醸成します。

## 4 産業が成長し活力を創出するまち

ミライエ長岡の産学協創センターを核にイノベーションを創発するため、産学協創チャレンジ補助金を創設するほか、イノベーション加速化補助金に特別枠を創設して、飛躍的な成長を目指す中小企業の積極的な投資活動を支援します。

再開発事業や地域未来投資促進法を活用した戦略的な企業誘致活動を展開するとともに、地球広場の機能を拡充し、産学官連携により市内企業で働く外国人向けの日本語講座を開催するほか、次世代のモデルとなる農業経営体を伴走型で育成します。

## 5 にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち

長岡戦災資料館の開館に合わせてオープニングセレモニーや記念講演会を開催するほか、市外で暮らす学生に定期的な情報発信を行うことで、ふるさと長岡への愛着を醸成し、卒業後のUターンや地元定着につなげてまいります。

河井継之助の生誕200年や良寛と貞心尼の出会い200年に合せた記念事業を展開するとともに、道の駅R290とちおと栃尾産業交流センターおりなすの一体的な再整備や観光地域づくりの司令塔となる新組織の設立に向けて準備室を立ち上げるほか、長岡ニュータウン運動公園野球場などのスポーツ施設の整備を進めます。

## 6 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち

質の高い行政サービスの提供やAIを活用するための人材育成を進めるとともに、市営駐車場と自転車駐車場の包括的な管理・運営方法を検討します。

大きく変化する人口構造や社会経済情勢に対応し、強固で持続可能な行財政基盤を確立して、総合計画を着実に推進するため、「第2期 持続可能な行財政運営プラン」を策定し、行財政の再構築に取り組みます。

## その他の重点施策（その先を見据えたまちづくり、物価高騰対応）

総合計画の将来像実現に向け、未来の長岡を担う若者とのネクスト長岡座談会を開催するほか、市が主催・共催・後援するイベントや行事を「市制施行120周年記念事業」として一体的に発信することで、全市を挙げた機運や一体感の醸成につなげます。

全市民に1万円分の「暮らしと地域の応援商品券」を配布することで、物価高騰に直面する市民の暮らしを支えて地域経済を活性化するとともに、国による小学校給食費負担軽減支援に合せて、市独自の物価高騰対応として、緊急的に保護者負担相当額を支援します。